

地域社会

ブラックバイト対策を

第一学院高富山 生徒が労働法を学ぶ

第一学院高富山キャンパスのブラックバイト対策講座は27日、富山市新校町のトラブルに備えた。



富山労働局監督課の栗山剛監察監督官が講師を務め、「残業代が出ない」「研修期間の賃金が最低賃金以下」などの事例や対策を説明した。生徒は自分の経験話を話し、「連続出勤日数って決まりがあるのですか」「3

日連続で残業したけど大丈夫ですか」と質問した。栗山監察監督官は「法律の知識を身に付け、自分でおかしいかどうか判断できるようにしてほしい」と呼び掛けた。

80人が合同入職式福祉、介護へ決意 県人材確保対策会議 県福祉人材確保対策会議の元気とやま福祉・介護職員合同入職式2018 写真は27日、富山市のホールファートとやまで行われ、80人が高齢者や障害者を支える決意を新たに示した。宮田伸朗会長があいさつした。山崎康至副知事が石井隆一知事のメッセージを代読した。新任職員を代表して特別養護老人ホーム射水万葉苑の小嶋佑也さん(21)が「一日も早く一人前になり、利用者に喜んでもらえるように頑張ります」と決意を述べた。 県社会福祉施設経営者協議会理事・県デイサービスセンター協議会副会長の大崎雅子氏が講演し、交流会が開かれた。

